

## 起こりうる災害に日常の備えを！

### ～3. 11 津波避難訓練（入口）～

3月11日、入口地区において、3.11津波避難訓練が行われました。

本訓練は、平成23年3月11日に発生した東日本大震災を教訓に、津波に関する理解と関心を深め、防災意識の向上を図るとともに、震災の記憶を風化させないことを目的に実施されました。

訓練は、青森県東方沖を震源とする地震が発生し、津波が来襲、広範囲にわたり停電、家屋の倒壊・火災等の被害が発生したとの想定で実施。村及び消防署が防災行政用無線や消防車両で避難を呼びかけ、沿岸の住民は高台にあるかしの館に避難しました。

避難訓練終了後には、青森県整備企画課による防災公共についての講演、村いきいき健康推進課による避難生活における健康面での注意点等について講演が行われました。

また、消防署によるAED講習や防災資機材の展示、非

常食の試食を行ない、非常時に役立つ備えについて紹介しました。

東日本大震災の悲劇をいつまでも忘れずに、訓練等を通して、いつ起こるか分からない災害に備えましょう。



真剣な表情で講演を聴く参加者の皆さん



AED講習の様子

## 勉強会を通じて正しい放射線の知識を！

### ～（一財）日本原子力文化振興財団 放射線勉強会～

2月28日、（一財）日本原子力文化振興財団主催による「放射線勉強会」が、東通村民生委員・児童委員、東通村食生活改善推進員、東通村保健協力員・母子保健推進員を対象に、東通村防災センターで開催されました。

勉強会では、講師の三枝さめぐさ（公美子先生（独）放射線医学総合研究所分子イメージング研究センター運営企画ユニット研究推進・運営室長）により、「知っておきたいくらしの中での放射線のお話」をテーマに、放射線の基礎知識、身の回りの放射線、放射線による健康への影響とリスクなどを学びました。

また、放射線測定器を使って、身の回りの放射線を測定する実演も行われました。

参加者からは、「大変勉強になった」「今後も放射線の勉強がしたい」などといった声も聞かれ、関心の高さがうかがえました。



三枝公美子先生



放射線勉強会の様子



放射線測定の実演